



安岡 明雄
(市民の声)

総合計画とビジョン 策定の整合性は

質問 「より良い計画を」との市民協働会議の皆様の思いが、直結した総合計画の策定であるべきだ。市民と協働し築き上げる総合計画と、市が主導する中心市街地活性化ビジョン策定を同方向にするために、どのように整合性を持たせるのかを伺う。

答弁 総合計画策定に当たっては、市が素案を示し、市民の協働会議から出された意見も入れながら、取りまとめをしている。また、中心市街地活性化ビジョンの策定においては、市でたたき台をつくって、多方面の市民からなる中心市街地活性化推進協議会の委員からの意見、提言をいただきながら取りまとめしていく。どちらでも、市民の声を反映させて策定することにしており、手法は違わないと考える。また、中心市街地活性化ビジョンは総合計画の部門別計画の一つであることから、総合計画の考えをビジョンに取り込み、ビジョンの意見、提言を総合計画に反映させていくことにしている。

実施計画に移行 する時の財源

質問 総合計画の実施計画と財政計画がリンクする方針のもと、来年度から実施計画が始まる。厳しい財政状況の中で実施計画の財源内訳はどのように推移するのか、合併特例債等どのように起債計画をするかを市民に示してほしい。

答弁 市税や地方交付税など本市の主要な財源は、今後さらに減少が見込まれ、非常に厳しい財政運営となるので、実施計画の財源については、国・県補助金の活用を図るとともに、有利な起債を充当していきたい。また、起債の計画は、実施計画の策定の際に、その時々々の財政状況を十分見ながら、後年度の負担を考慮した上で、有利な起債の活用を図りたい。なお、合併特例債は、合併時の10カ年での計画額119億6千万円に対し、この2カ年で約15億5千万円の借り入れを見込んでいる。過疎債は、時限立法の過疎地域自立促進特別措置法の期間延長など、総合的な過疎対策を国県に対して要望したい。

安岡議員のその他の質問事項

- まちづくりの推進を強固にするために
- まちづくりの実効を高める組織を



薩摩 博
(よねしろ会)

市税等の収入対策

質問 市は、収納対策については口座振替を進めているが、国保税を初め各種税金、また、水道料などの収納が厳しい状況にあり、クレジットカード納税の導入も必要ではないか。また、前納者に対する割引制度の導入も検討すべきでは。

答弁 クレジットカード納税等の導入は、収納率向上や市民サービス向上の観点から期待されており、全国では現在3自治体が導入しているようである。しかし、仮に軽自動車税について導入した場合を想定すると、本市では口座振替の割合が高いため、逆にコスト増の可能性があることや納税証明書を発行する際のカード会社からの入金時期など、導入に向けて解決すべき課題もあり、今少し検討したいと考えている。前納者に対する割引制度の導入については、旧能代市では前納報奨金制度があったが、納税者間で不公平感があることから、昭和62年3月に廃止されており、今後も再導入する考えはない。

森林・林業の再生

質問 外材等国内への輸入材の値上がり、品薄で国産材が注目を集めているが、全球測位システムGPSの導入や施業の集約化の新規事業等の情報収集、啓蒙活動に努めるべきでは。

答弁 白神森林組合では、森林情報の一元化が可能となる森林管理システムや正確な位置情報が可能な地球測位システムを導入し、より詳しい森林情報の把握を行うとしている。今後、同システムを組合員に啓蒙し、森林整備に活用されるものと期待している。また、我が国の森林・林業施策の基本方針を定めた森林・林業基本計画などを踏まえ、国では、森林施業の集約化につながる森林情報の収集活動や集約化先進地研修による人材育成等を支援する施業集約化・供給情報集積事業など、森林施業の集約化を推進するため、今年度より新たな補助事業をスタートさせている。

薩摩議員のその他の質問事項

- 四小、二ツ井統合小建設に係る木材の確保を早めに
- 能代海水浴場の廃止